
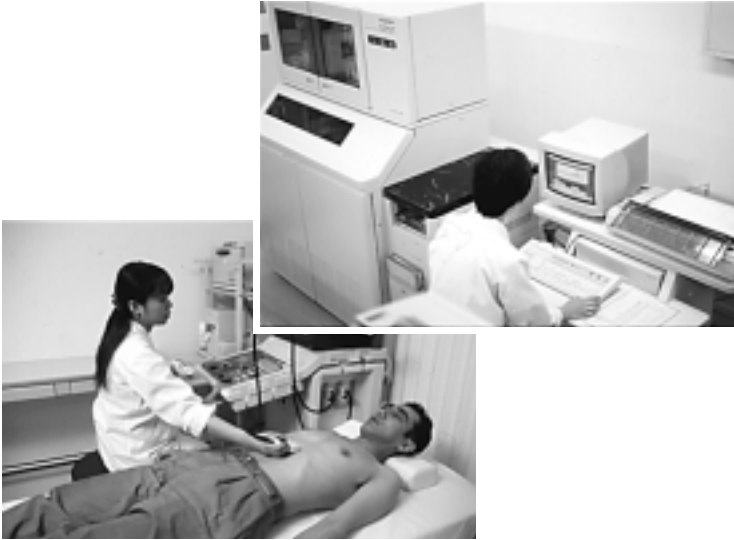


## 財団法人 神奈川県予防医学協会の沿革

| 年         | 協会の動き   | 検診・検査の動き  |
|-----------|---|---|
| 昭和<br>30年 | 1月24日 横浜市南区中村町の県衛生研究所の一隅を借り <b>神奈川県寄生虫予防協会が任意団体として発足</b> 。全国では10団体が活動   | 1月 寄生虫検査を開始   |
| 32年       | 9月17日 日本寄生虫予防会設立、支部となる。<br>4月 寄生虫保卵率を下げる“10%運動”提唱   |   |
| 33年       | 9月 検査室、事務所を金沢区の青木医院（当時の理事長宅）へ移す   |   |
| 34年       | 11月 第1回県寄生虫予防大会を県、横浜市、国保連、町村会と共催<br>1月 “オーミン号”で農村各地区巡回PR。寄生虫予防を訴え講演会、映画会を開催。学校集団検査の自治体予算化すすむ<br>8月 横浜市南（現在は港南）区上大岡町に検査所を新築、事務所とともに移転<br>11月 第2回寄生虫予防大会を開催 | 9月 胃がんのスクリーニングテストとして便潜血反応検査を開始  |
| 35年       | 11月 県“衛生まつり”を開催。以後、県寄生虫予防大会はこれへ合流   |   |
| 36年       | 5月 協会の財団法人認可<br>8月 第6回寄生虫予防全国大会を箱根で主催   |   |
| 37年       | 8月 湘南内陸部農村地域の鉤虫実態調査を基礎に協会は独自で県、市に陳情。翌年予算化   | 7月 腸内細菌検査を開始  |
| 38年       | 6月 胃がん検診を主体とする中央診療所を中区長者町に開設<br>12月 胃集団検車「長寿1号」完成   | 6月 消化器検診を開始<br>10月 学童腎臓病検診を開始   |
|           |    |   |
| 39年       | 3月 事務所を横浜市中区長者町へ移転<br><b>3月25日 財団法人神奈川県予防医学協会設立</b>   | 7月 血清反応検査を開始  |
| 40年       | 9月 日本対ガン協会神奈川県支部になる   | 9月 貧血検査を開始  |
| 41年       | 12月 財団法人予防医学事業中央会設立、支部になる   | 4月 学童心臓病検診を開始<br>4月 定期健康診断を開始<br>4月 特殊健康診断を開始   |
| 42年       | 10月 横浜市中区住吉町「松村ビル」に事務所、診療所を移転   | 9月 作業環境調査を開始  |
| 43年       | 10月 小田原市で第1回ガン征圧全国大会を実施   | 4月 学童糖尿病検診を開始   |
| 44年       | 1月 第2回全国検査室会議を箱根で主催。以後6回、神奈川で主催<br>4月 「肺ガン予防の公衆衛生学的研究」3年計画でスタート（川崎市と共同、日本対ガン協会補助）<br>10月 全国労働衛生検診機関連合会（後の全国労働衛生団体連合会）設立                                   | 1月 検診車による子宮がん検診を開始<br>2月 精密総合健診（人間ドック）を開始<br>5月 施設での子宮がん検診を開始<br>11月 郵送スメアによる子宮がん検診を開始（県産婦人科医会との協力事業） |
| 45年       | 8月6日 財団法人神奈川県寄生虫予防協会解散、予防医学協会に合併  | 3月 横浜市に協力し公害病認定のための検診を実施  |
| 46年       |   |   |

| 年   | 協会の動き   | 検診・検査の動き  |
|-----|---|---|
| 昭和  |   |   |
| 47年 | 4月 集団検診センター，横浜市金沢区鳥浜町に開所  |   |
|     | 10月 登録衛生検査所として県知事から認可される  |   |
| 48年 | 8月 箱根で「第4回予防医学推進・第17回寄生虫予防全国大会」を主催  | 4月 保健相談を開始<br>4月 水質検査開始<br>11月 肺がん検診を開始<br>婦人健診を開始  |
| 49年 | 7月 協会に「神奈川労働衛生コンサルテーションセンター」開所  |   |
| 51年 | 3月 作業環境測定機関として認可される   | 7月 「神奈川から肺と胃がんをなくす会」(後のACクラブ)の会員制検診を開始<br>11月 先天性代謝異常症の検査開始                                 |
| 52年 |  | 4月 子宮体がん検診を開始<br>5月 地域での乳がん検診を開始<br>6月 施設での乳がん検診を開始<br>6月 施設での腎臓病精密検査を開催<br>7月 地域での肺がん検診を開始 |
| 54年 | 2月 簡易専用水道の指定検査機関となる   |   |
| 55年 | 1月 水質検査の指定検査機関となる<br>2月 事務局，診療所を横浜市中区日本大通に移転，健康教育センターを設置<br>9月 予防医学推進全国大会を主催        | 8月 簡易専用水道検査を開始  |
| 57年 |   | 3月 大腸がん検診を開始<br>10月 神経芽細胞腫検査を開始   |
| 58年 | 汎用コンピュータ導入，日本大通ビル3階西側を全面改装のうえコンピュータ室拡充整備  |   |
| 59年 | 東日本がん征圧大会（桜木町）を主催   |   |
| 63年 |   | 4月 副腎過形成症スクリーニングを開始<br>5月 健康づくりプログラムを開始<br>9月 運動機能測定（THP）を開始                                |
| 平成  |   |   |
| 元年  | 10月 労働安全衛生法改正に伴う検診・検査受け入れ体制の確立  |   |
| 2年  | 10月 第42回保健文化賞（団体賞）を受賞   |   |
| 3年  | 4月 新コンピュータシステム「MEDIX KANAGAWA」を稼働   |   |
| 4年  | 4月 集団検診センター新館竣工<br>完全週休2日制の導入<br>10月 集団検診センター本館・別館の改修                               | 4月 腹部超音波検診を開始   |
| 6年  | 5月 関内施設の改修<br>10月 政府管掌健康保健の成人病予防健診指定機関の認定を受ける<br>12月 中央診療所が自動化健診優良施設の認定を受ける         |   |
| 7年  | 1月 創立40周年を迎え，2月から記念事業を展開  | 4月 骨粗鬆症予防検査を開始  |
| 8年  | 3月 日本大通ビル7階北側を全面改修のうえ高速螺旋CTを導入設置  | 4月 高速螺旋CTによる肺がん検診を開始<br>4月 前立腺がん検診を開始   |
| 10年 | 4月 一日人間ドックが健診システムを再構築し稼働  |   |
| 11年 | 10月 労働衛生機関評価制度の認定機関となる  |   |
| 12年 | 11月 労災保険指定医療機関認定  |   |
| 13年 | 10月10日 川崎支所開設<br>12月 マンモグラフィ検診施設画像認定  |   |